

# まちのニュース カメラアイ ~地域のお話をお届けします~

7/21  
(金)



## サロン活動情報交換会

地域サロン情報交換会を保健福祉センターで開催し、町内5ヶ所のサロン活動に携わっている方々と、アドバイザーとして旭川大学の教授や学生たちが参加し、それぞれの地域の活動状況や他都府県の活動状況について意見を交わしました。



7/4  
~8/1

## 着物リメイク講座

町民自主企画公民館講座「着物リメイク講座」が、7月4日から8月1日まで全4回、公民館で開催されました。

旭川市在住、加藤いくの先生の指導により、思い出がたくさんつまっていた着物が、素敵な洋服に様変わりしていく作業をわくわくしながら楽しんでいました。

7/25  
(火)



## 芳生苑のちっちゃな夏まつり

芳生苑の入居者と子どもたちがふれあう「ちっちゃな夏まつり」が、今年も芳生苑前で開催されました。

このお祭りは今年で18回目となり、家族会やボランティアクラブ、ライオンズクラブの協力を得て毎年開催されています。

会場では塩狩太鼓の演奏や盆踊り、子どもたちが楽しめるゲーム大会等が行われ、集まった方々は夏の日を楽しんでいました。

7/20  
~8/3



## 手話でコミュニケーション

公民館講座「楽しく学ぼう!!はじめての手話教室」が7月20日、27日、8月3日の全3回、公民館で開催されました。

講師に土別聴覚障がい者の会、殿内誠会長、殿内美香さんらを招き、教室では、手話でのあいさつや自己紹介、指文字などを、笑いが絶えない中、楽しく手話での会話を学びました。



8/3  
(木)

### 道北双葉里親会上川中央支部総会

和寒、剣淵、比布、鷹栖、当麻、愛別、上川の7町で構成する道北双葉里親会上川中央支部（三浦道幸支部長）が和寒町総合体育館で総会を開催しました。

三浦さんは平成14年7月に里親登録、これまで7名の里子を育てられ、平成27年には北海道知事表彰を受賞されています。

総会では、児童相談所からの情報提供のほか、里親の実体験を共有するなど、里親制度の発展に向けて議論を深めていました。



7/28  
(金)

### 夜の町を探検 ナイトハイク

こども館はじめての『ナイトハイク』を行いました。

普段見慣れた風景と違う暗くなった街なかを、5～7名の親子のグループが降り出した雨にも負けず、懐中電灯を手に、1時間以上かけてスタンプを集めたり虫や珍しい物を発見しながら無事こども館に戻りました。

途中、チェックポイントの一つ、神社でのサブライズや通ったことのない駅の跨線橋など夏のひとときをみんなで楽しく過ごしました。

この催しには多くのボランティアの方にもお手伝いいただきました。



8/4  
(金)

### みんな仲良く 人権擁護教室

町人権擁護委員を務める川嶋孝明さんと打田幸江さんが保育所を訪れ、子どもたちに人権の大切さを話しました。

人形劇「三匹の子豚」のほか、「人権まもるくん・あゆみちゃん」の着ぐるみが登場し、子どもたちは楽しく人権について学びました。



8/1~3  
(火~木)

### ステップアップ夏休み教室開催

8月1日～3日の、公民館で「ステップアップ夏休み教室」を開催し、小学1～3年生の28名が参加しました。普段は毎週木曜日の放課後に、小学1～6年生の73名が学習習慣の定着と算数の基礎基本の定着に励んでいます。

参加した子どもたちは一様に、しっかりとした目的意識を持って取り組み、3日間集中した時間を過ごしていました。

また、7月25～27日には小中学生を対象に「サポート学習」を実施しました。例年より参加者が多く、学習に対する意欲と関心の高さを感じられました。



8/12  
(土)

## 大通り にぎわい祭り 2017

例年大通りで開催されている盆踊り大会に軽トラ市とステージショーが加わって開催された「大通りにぎわい祭り2017」は、お盆に帰省している方も大勢集まりました。

盆踊りの後には、和寒出身で日本屈指のヒューマンビートボックス、中山立草さんのステージショーが行われ、声だけで創り出されるリズムに老若男女が盛り上がりました。

※ヒューマンビートボックス・・・声のみで様々な楽器等の音を出して音楽を創り出すもの。



8/7・8  
(月・火)

## ティムのやさしい英語教室

オーストラリアから来町し、今年度から小中学校で英語を教えている、ALTのティム先生の「やさしい英語教室」が公民館で開催されました。

教室ではオーストラリア先住民が使っていたブーメランを作ったり、オーストラリアと日本の違いを知りそれぞれの国の良さを学びました。

2日間の教室は全て英語で行われ、参加した14名の子どもたちは首をかしげながらも先生の言っていることを理解しようと懸命に頑張りました。



8/13  
(日)

## 自治会対抗野球大会

和寒町野球連盟主催の自治会対抗野球大会が行われました。

昭和48年から続くこの大会は、お盆期間を利用し開催しているため「盆野球」とも言われ、帰省した方も出場できる大会で、年に1度の大会に親睦と交流が深まっていました。優勝は若草自治会、準優勝は仲町自治会となりました。



8/8  
(火)

## わんぱく広場がオープンしました

保育所南側に整備していた「わんぱく広場」がようやく完成し、8月8日(火)にはキャラクターも登場するオープンセレモニーが行われました。

さっそく子どもたちは、芝生に寝転がったり、水遊び、泥んこ遊びを楽しみました。

この広場の整備には「ふるさとまちづくり応援寄付金」の一部が充てられています。9月には一般開放も予定しています。



### 塩狩峠でサマーキャンプ

北のきらきらキッズプロジェクト主催の「きらきら輝け☆サマーキャンプ大作戦」がJR塩狩駅周辺で開催されました。この事業は独立行政法人国立青少年教育振興機構の子どもゆめ基金の助成を受けて実施され、蜂や雷などの自然の危険について学んだり、テントの設置を子どもたちで考えながら行ったりと力を合わせて目的を達成する体験や、うどんやピザづくりなども行い、参加した小学生以下の子どもたちは1泊のキャンプで様々なことを体験していました。



### 子どもたちにボールをプレゼント

冬音野球部から野球少年団へ、野球ボールがプレゼントされました。

この活動は、冬音野球部が設立されたときから10年以上継続しておこなわれており、町内の野球少年を応援しようと、野球少年団と和寒中学校野球部に2ケースずつ贈られています。

この日は冬音野球部を代表して山本彰さんが子どもたちにボールを手渡し、子どもたちは大きな声でお礼を言うと、真っ白なボールのプレゼントにととても喜んでいました。



### 国際交流の集い in わっさむ

和寒町国際交流の会で毎年夏と冬の2回実施しているこの事業に、今年も8名の外国人留学生が参加しました。

今年は中国やタイ、ブラジルやザンビアなど様々な地域からの交流となりました。

19日には子どもたちと一緒に塩狩でキャンプし、20日には南丘でカヌーを体験するなど、自然豊かな和寒町をのんびりと体験していました。



### 介護技術講座

社会福祉協議会と芳生苑が主催の介護技術講座が、健康苑で開催されました。

大堀具視准教授（日本医療大学保健医療学部リハビリテーション学科作業療法学専攻）を講師に、「共感や気づきを大切に、本人の主体性を奪わないように」などとアドバイスがあったほか、実技では「現場では、特別な技術ではなく誰でもできることでなければならない」と説明し、参加した介護員等は真剣に取り組んでいました。